

乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報

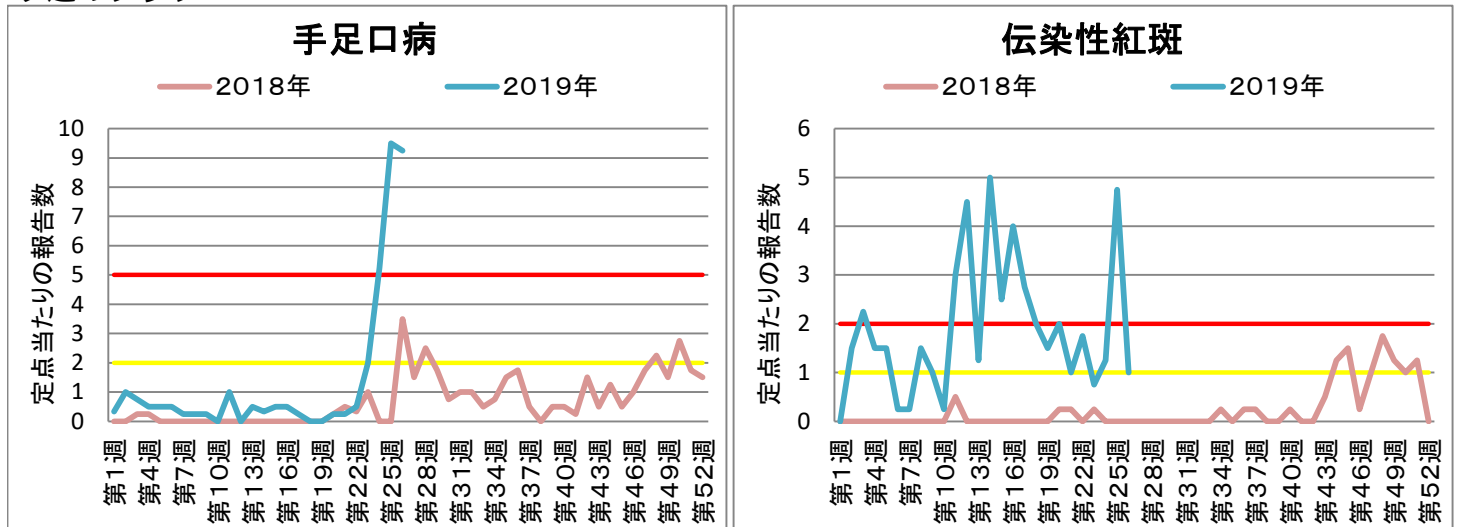
(インフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点、全数報告)

第 26 週 2019年6月24日 ~ 2019年6月30日

今週のコメント

- 手足口病の報告は多い状況が続いています(定点あたり9.25)。この疾患は手のひら・足底・口腔粘膜に水疱性発疹が出るウイルス疾患です。過半数は2歳以下で、夏に多く、飛沫感染が主です。特別な治療法はなく通常は自然治癒しますが、元気がない・頭痛・嘔吐・高熱・2日以上続く発熱などの場合には、髄膜炎や脳炎の合併も考えられます。予防には有症状時の対応や日頃の手洗いが大切です。
- 伝染性紅斑の報告は前回より減りました(定点あたり1.00)。この疾患はリンゴ病とも呼ばれ、両頬に紅い発疹が出ることもある、小児に多い病気です。感染経路は飛沫感染や接触感染です。
- A群溶血性連鎖球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘の報告も今回は減少しています。
- 結核が1例、侵襲性肺炎球菌感染症が1例、百日咳が2例、報告されました。

今週のグラフ



* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	-	伝染性紅斑	1.00
RSウイルス感染症	-	突発性発しん	1.00
咽頭結膜熱	0.50	ヘルパンギーナ	3.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	流行性耳下腺炎	0.75
感染性胃腸炎	6.00	急性出血性結膜炎	0.25
水痘	0.50	流行性角結膜炎	-
手足口病	9.25		
1~4類、5類全数報告疾病			
結核(1人)、侵襲性肺炎球菌感染症(1人)、百日咳(2人)			

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点 : 7箇所
小児科定点 (インフルエンザ以外の疾病) : 4箇所
眼科定点 : 1箇所

参考資料等

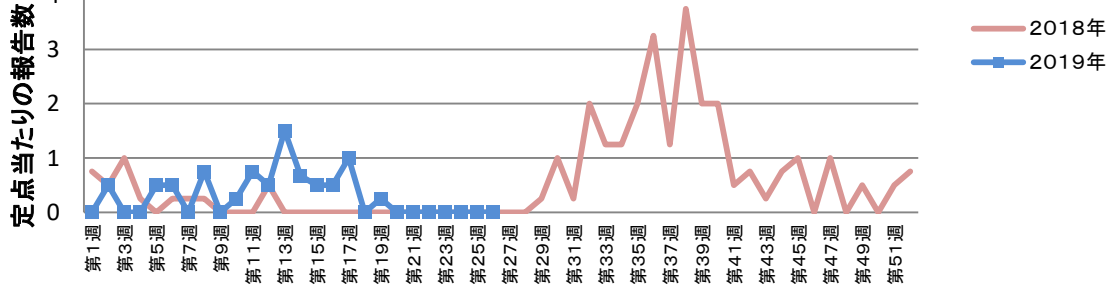
報告週対応表 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

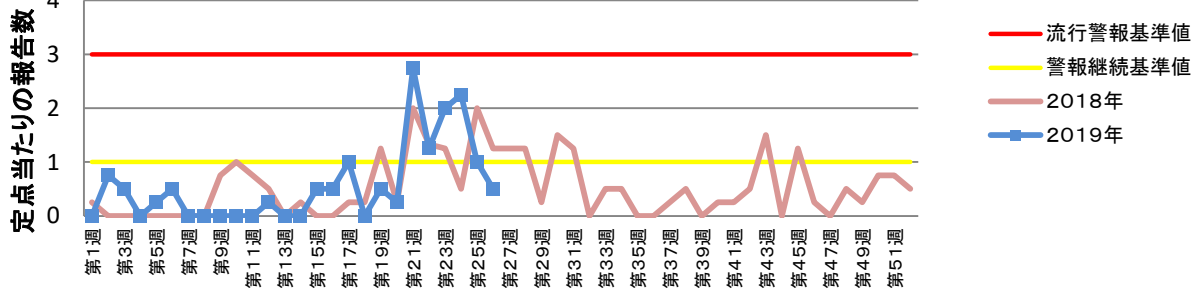
インフルエンザ



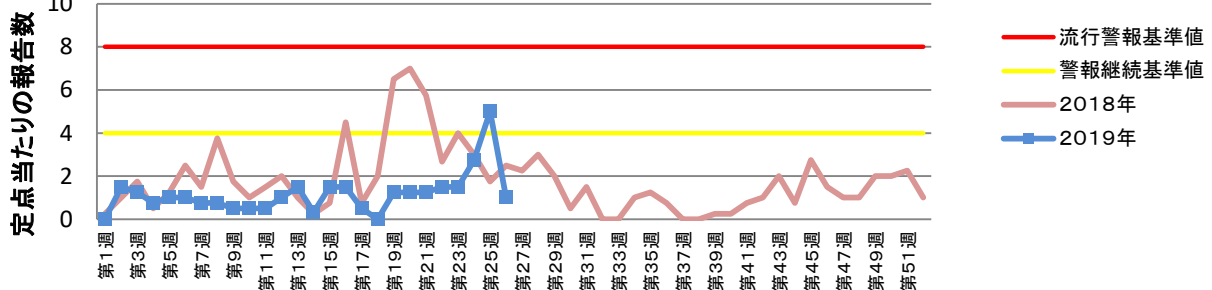
RSウイルス感染症



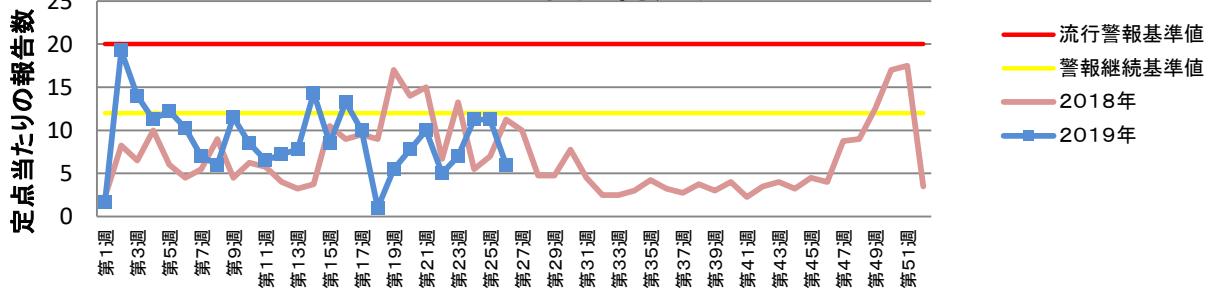
咽頭結膜熱



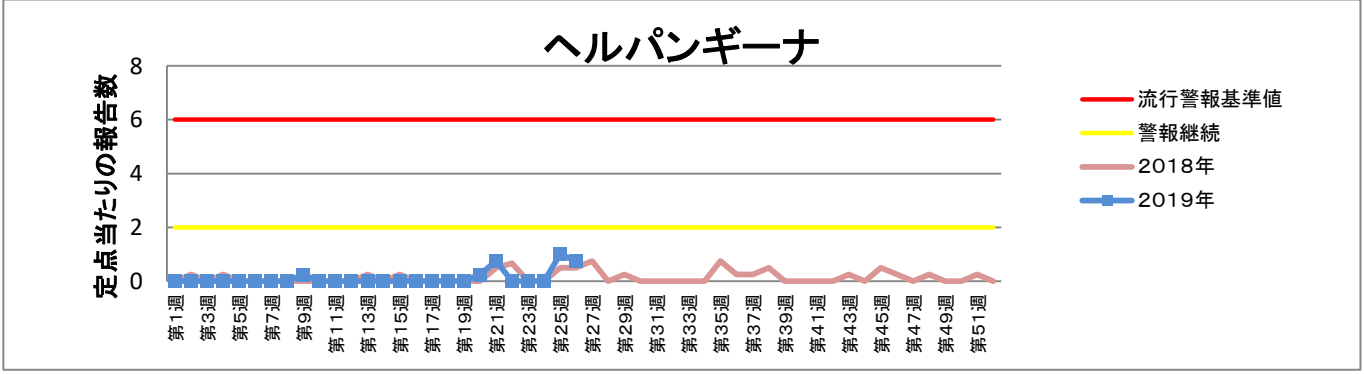
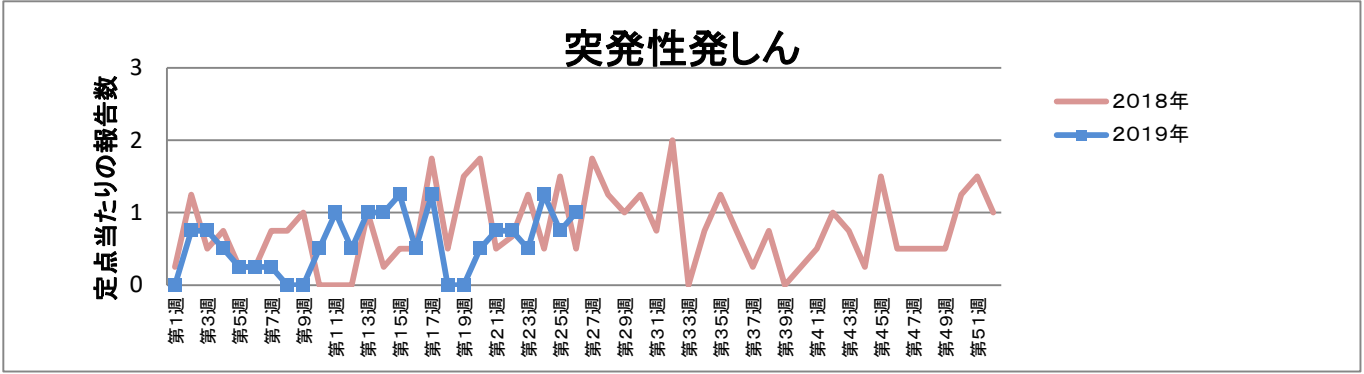
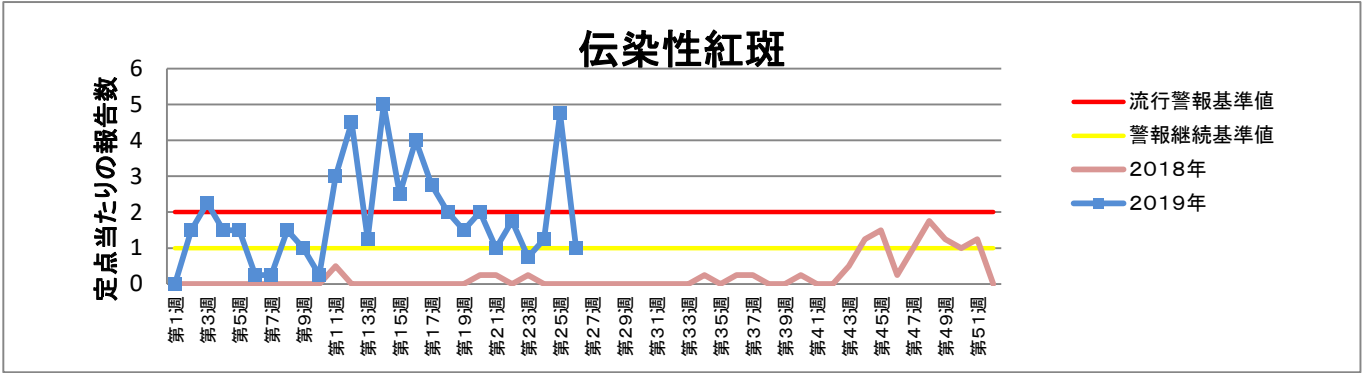
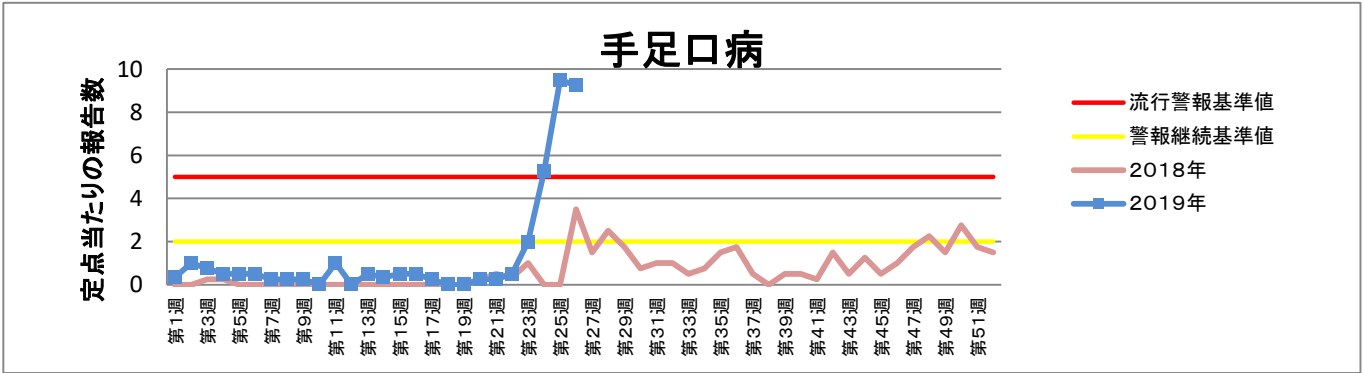
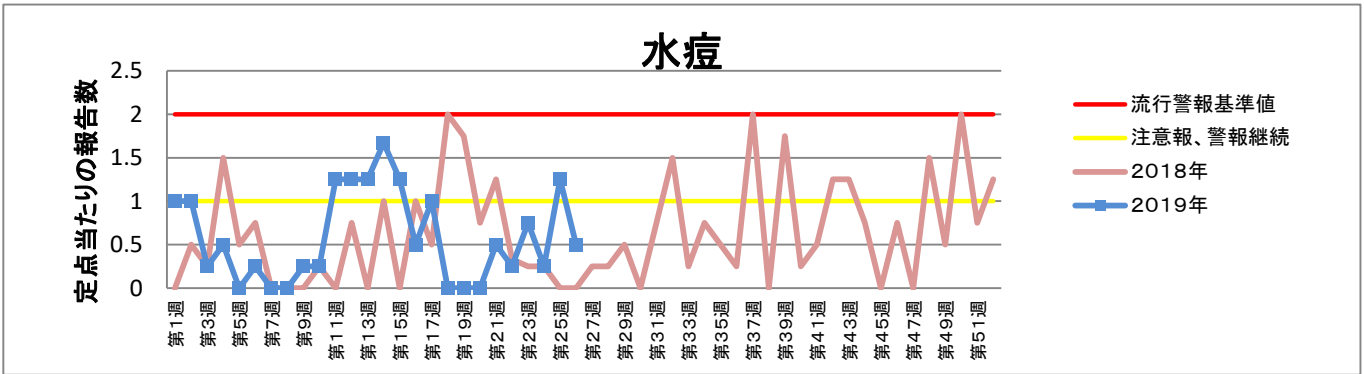
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



感染性胃腸炎

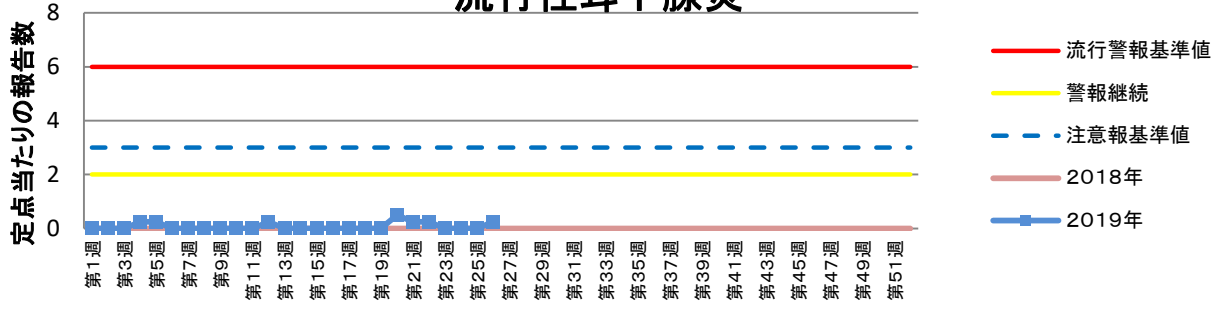


乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

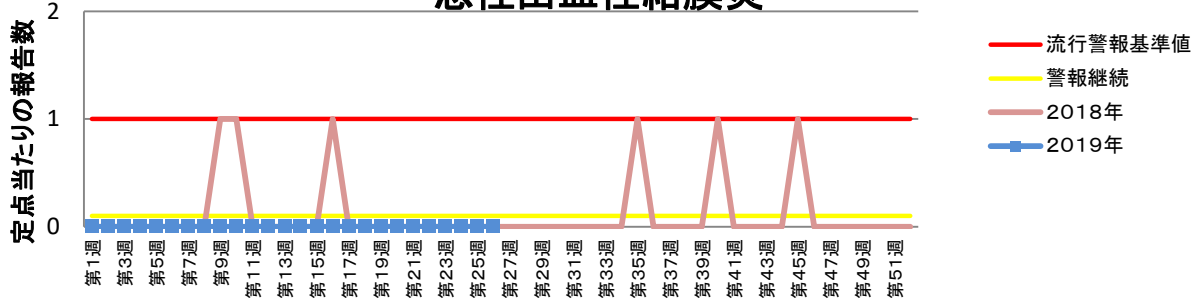


乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎

